

News Release

プルデンシャル生命保険株式会社

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-13-10 プルデンシャルタワー
<http://www.prudential.co.jp>



Prudential

2008 年 5 月 19 日

プルデンシャル生命保険株式会社

新医療保険

在宅ホスピスケアに入院給付金の支払いを開始

自宅など病院以外での終末期医療も対象に

プルデンシャル生命保険株式会社（本社 東京都千代田区永田町、代表取締役社長兼最高経営責任者 三森 裕）は本日、新たな医療保険「新医療保険」の販売開始にともない、在宅ホスピスケアに入院給付金をお支払いする取り扱いを開始します。

弊社は、人間の不朽の原理である「人間愛・家族愛」を基本理念に、生命保険のプロフェッショナルであるライフプランナー（営業社員）がお客さまお一人おひとりにオーダーメイドの保障を提供しています。ライフプランナーは生命保険を販売した後も、一生涯のパートナーとしてお客さまのサポートを続けていますが、近年の医療現場の現状を見ると、終末期医療への注目が高まり、平均入院日数は短縮化の傾向にあるなど、患者の意識や取り巻く環境は急速に変化してきています。

こうした変化に対応すべく開始したのが在宅ホスピスケアに入院給付金をお支払いする取り扱いです。この取り扱いは、退院時に余命6ヶ月以内と判断され、退院後も症状の緩和を目的として、医師の計画的な医学管理のもと、自宅など病院以外の施設で医療を継続して受ける場合にも、入院しているものとみなして入院給付金をお支払いするものです。また、この取り扱いは新規の新医療保険のほか、すでにご契約いただいている入院保障のある特約および商品すべてに無料で適用されます※。※新医療保険の販売開始後に在宅ホスピスケア治療を開始していることが必要です。

<新医療保険について>

お客さまのニーズに応え、より充実した医療保障を提供するために開発されたのが「新医療保険」です。主な特長は以下のとおりで、給付対象の拡大とともにお客さまの選択肢が増えるなどの利便性が向上しています。

- 1) 在宅ホスピスケアに入院給付金をお支払いする取り扱い
- 2) 給付金のお支払い対象の拡大

これまでの89種の手術を対象とする手術給付金に加えて、今まで給付対象にならなかった扁桃腺手術など、公的医療保険制度によって保険給付の対象となり、診療報酬点数表により手術料の算定される入院を伴う手術も新たにお支払いの対象となります。

3) 入院日数種類の拡大

一入院のお支払い限度の日数が、これまでの 120 日のタイプに加えて、60 日のタイプをご用意しました。

弊社社長の三森 裕は「在宅ホスピスケアに入院給付金をお支払いする取扱いは、「人間愛・家族愛」を基本理念とし、ライフプランナー制度を採る弊社ならではのサービスです。『人生の最後は、病院ではなく住み慣れた家で愛する家族とともに過ごしたい』と、自宅など病院以外の場所で医療を継続して受けることを選ばれる患者の方々の一助になればとの思いからこの取り扱いの開始を決定しました。お客さまお一人おひとりの状況に即したパーソナルなサービスをお届けできるよう、今後も一層努力して参ります」と抱負を語りました。

*** 保険種類をお選びいただく際には「保険種類のご案内」をご覧ください。**

当社がご提案する保険は、すべて無配当保険です。

ご契約の際には、「契約概要」、「『重要事項・注意喚起情報』説明書」および「ご契約のしおり・約款」をご確認ください。